

～もっと女性が活躍できる建設業を目指して～ 建設系女子大学生による工事安全パトロール

梅田 涼平

四国地方整備局 徳島河川国道事務所 工務第一課（〒770-8554 徳島市上吉野町3丁目35）

工事現場の安全パトロールについては、事故の発生を防止するために創意工夫を図りながら実施する必要がある。また、建設業の女性活躍については、建設業界全体で取り組んでいる状況であることから、今回、労働環境の改善や安全衛生面の向上を目指した取り組みとして、地元の大学と連携して、建設系女子学生を対象に工事現場における安全パトロールを実施した。

キーワード 安全パトロール、安全衛生、労働環境の改善、女性技術者、地域連携

1. はじめに

建設関係の工事現場では、従来より工事事故の発生防止や建設業に従事する作業員における労働環境の改善等、安全・衛生面の向上が課題となっている。また、建設業界では、これまで以上に女性が活躍できるような職場環境を目指して、様々な取り組みを推進しているが、建設業に従事する女性技術者や女性技能者を増加させるためには、産官学が一体となって中長期的に建設業界全体で取り組みを持続させていく必要がある。

一方、建設関係の工事現場は、男性の職場というイメージが広く一般に定着しており、工事現場のトイレや更衣室等、女性が働きやすい労働環境が整備されていない状況となっている。そこで、当事務所では、工事現場の安全・衛生面の向上、建設業の職場環境に関する現状と課題を把握、課題の解決に向けた取り組みを推進することを目的として、地元の大学に在籍する建設系女子大学生に参加して頂き、工事現場における安全管理の実務体験を兼ねた安全パトロールを実施した。

2. 安全パトロールのスケジュール

安全パトロールは、平成27年10月30日（金）13:00～17:00に開催し、徳島大学工学部建設工学科の女子大学生（3年生）7名、国土交通省徳島河川国道事務所の女性職員3名、建設会社の女性職員5名の計15名が参加した。

安全パトロールは、吉野川下流域の工事現場を3箇所選定して実施した。当日のスケジュールとしては、最初に徳島河川国道事務所において安全パトロールの内容や工事概要について説明した後、それぞれの工事現場に移動して安全パトロールを30分程度行った。安全パトロール終了後、徳島河川国道事務所に戻り、工事関係者及び安全パトロールの参加者全員で意見交換を実施した。



図-1 安全パトロール実施箇所

3. 事前アンケートの実施

安全パトロールの実施に先立ち、参加する学生の建設業に関する現状認識を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

調査の結果、結婚・出産に関する内容や建設現場における仕事で体力面での不安など、女性に関心があると思われる内容が比較的多く出された他、下請業者との関係やトラブルが発生した際の対応方法など、男女に共通するような内容についても質問があった。なお、具体的な学生への質問及び回答内容は以下の通りである。

【学生への質問①】

・建設会社」に就職するとした場合、どのような点が心配（不安）でしょうか？

【質問①に対する学生からの回答①】

- ・熱中症や現場の安全性、女性の待遇・体力的問題。
- ・施工現場によって転居が必要になり、生活基盤が定まらないのではないかと？
- ・配属先によっては、女性に厳しい仕事がありそう。
- ・キャリアとライフスタイル両方のバランスをどうとるか、出産で不利になるのでは？

【学生への質問②】

・建設会社の方に聞いてみたいことは？

【質問②に対する学生からの回答②】

- ・女性はどうのように活躍することができるのか？
- ・現場の仕事は体力的に大変か？
- ・女性で結婚されてからも仕事を続けている方はどのくらいいるのか？
- ・建設会社で女性が働くメリットは何か？
- ・ライフワークのバランスをどのようにとっているか？
- ・今までで1番危険だったのは、どのような現場で、どのような状況になった時か？
- ・現場で働いていて、やりがいを感じる時はいつか？
- ・下請業者さんと良好な関係をどう築いているか？
- ・予想外のトラブルがあったときの対応はどうか？

4. 安全パトロールの実施内容

(1) 事前説明

安全パトロールを実施するにあたり、現場経験のない学生に対して工事現場で実施している安全点検の内容を学んで頂くことを目的として、受注者である建設会社の一般的な仕事内容、発注者である国土交通省が実施している安全点検に関する仕事内容及び今回の安全パトロールで使用するチェックリストの内容について説明した。

建設会社の仕事内容については、施工体系図を用いて元請業者と下請業者の関係やそれぞれの役割分担について説明するとともに、「KY活動」や「安全巡視」等の元請業者が日々行う現場管理の内容、「施工計画書」や「工事打合簿」等の書類関係、「関係機関との協議」や「施工管理」等、その他に適宜実施する内容について説明した。

発注者が実施する安全点検については、『「施工プロセス」チェックリスト(案)』を用いて、安全対策に関する点検項目について説明した。

安全パトロールを実施する際は、チェックリストを使用することがあるが、チェックリストは専門的な内容も多く含まれていることから、既存のチェックリストから「作業員・服装・保護具」、「一般事項・整理整頓」、「作業通路・交通安全・車両系建設機械」の項目について、現場経験のない学生でも比較的分かりやすい点検項目を抽出して、安全パトロールに使用するチェックリストを作成した。また、参加者は、チェックリストの項目毎に良否(○、△、×)の判定を行うとともに、点検結果を補足するコメント欄やパトロールの感想などの自由な意見が記入できる欄についても設けた。

なお、チェックリストに記載した主な点検項目は以下のとおりである。

【作業員・服装・保護具に関する点検項目の例】

- ・ 監理技術者・主任技術者は名札を着用していますか？

【一般事項・整理整頓に関する点検項目の例】

- ・ 現場出入口周辺の整理整頓状況は良好ですか？
- ・ 作業員休憩所の整理整頓状況は良好ですか？
- ・ 喫煙場所は指定されていますか？管理状況は？

【作業通路・交通安全・車両系建設機械に関する点検項目の例】

- ・ 第三者の立ち入り禁止措置は行われていますか？
- ・ 階段等で昇降する際に危険はありませんか？
- ・ 作業通路につまずいたり滑ったりするような場所はありませんか？
- ・ 工事看板、標識類の設置場所は適切ですか？



写真-1 事前説明

(2) 施工業者による現地説明

安全パトロール対象工事の施工業者により、工事概要、工事の実施手順、当日の作業内容及び工事現場で実施している安全点検の方法や留意点について説明した。その際、学生が点検内容をイメージしやすいよう、吊ロープやチェーン等の実物を用いる等、工夫しながら点検方法や点検に関する留意点について説明した。



写真-2 現地説明(吊ロープの点検方法)

(3) 安全パトロールの実施状況

①平成26-27年度 古川護岸災害復旧工事

この現場では、女性用トイレや作業員休憩所といった労働環境に関する施設、喫煙場所、浮き輪等の救急用具、現場内に設置されたゴミ箱の分別状況、昇降階段や通路等について点検を行い、様々な意見が出された。特に、

この工事現場では、他工事では設置事例が少ない移動式の作業員休憩所が設置されており、参加者の関心も高かったことから多くの意見が出された。休憩所内は、畳が敷かれた和室のようになっており、机の上には室内で喫煙が出来るよう灰皿が置かれていた。参加者からは、「飲み物や座布団が必要では?」、「掃除が不十分」、「昇降用の階段が急だった」、「分煙が必要では?」といったマイナス評価の意見が出され、特に室内で喫煙できる環境に対して厳しい意見が多く出されていた。一方で、「靴を脱いで座ることが出来るのは良い」、「着替用カーテンがあるのは良い」といった女性らしいプラス評価の意見も出された。また、その他の点検結果としては、堤防天端から現場内に降りるために設置した昇降用階段について、「蹴り上げが高い」、「勾配が急である」、「昇降時に揺れて怖いと感じた」といったマイナス評価の意見が出されており、男性ではあまり気にならない状況であっても、女性からみると現在の昇降用階段は利用し難い状況であることが分かった。

点検後は、休憩所内について清掃をし直して新たに飲み物や座布団を置くとともに、灰皿を撤去して、喫煙は屋外の指定された喫煙場所で行うよう分煙化を行うことにより、指摘事項の改善を図った。



写真-3 移動式休憩所の点検



写真-4 移動式休憩所（是正前）



写真-5 移動式休憩所（是正後）

②平成27年度 古川護岸外補修工事

この現場では、工事が最盛期であったこともあり、作業員休憩所や女性用トイレ、喫煙所、資機材の整理・整頓状況、通路や昇降階段の状況、立入り禁止措置の状況、イメージアップ用看板の設置状況等、様々な項目について点検を行い、多くの意見が出された。

女性用トイレに関しては、「和式・様式のトイレがある」、「鏡付きの手洗い場がある」といった女性らしい意見が出されたほか、昇降用階段について、「蹴り上げが低い」、「安定感があつた」といった点がプラス評価の意見として出された。一方、マイナス評価の意見としては、屋外休憩所しか無かった点について多く意見が出された他、「喫煙場所が通路に近い」、「分煙してほしい」など喫煙場所や分煙方法について関心が高いことが分かった。また、作業用通路に関して、「雨の日は通路の鉄板が滑りそう」、「鉄板に段差や隙間がある」、「手摺りがあつた方がよい」などの男性では気にならないような細かい点についても意見が出された。

点検後は、屋内休憩所の設置や敷鉄板上にある作業通路に滑止めのゴムマットを設置するなど、指摘事項について改善を図った。



写真-6 仮設トイレ・手洗場の点検



写真－7 作業用通路（是正前）



写真－8 作業用通路（是正後）

③平成27年度 榎瀬地区堤護岸外工事

この工事は、着手して間もないということで、現場作業が少なかったことから、参加者にバックモニター付きバックホウの試乗を行った後、現場事務所に移動して女性用トイレや室内の状況について点検を行った。

現場事務所の点検では、「女性用トイレがすごくきれいだった」、「室内が整理・整頓されてきれいだった」といった意見が出されるなどプラス評価の意見が出された。一方で、「現場事務所の入口付近にゴミが散乱していた」、「ゴミの分別がされていない」などのマイナス評価の意見が出されていた。

点検後は、入口付近の清掃や分別が出来るゴミ箱を設置する等、指摘事項について改善を図った。

(4)意見交換の実施

意見交換には、点検に参加した学生の他、建設現場の担当職員や会社関係者、徳島河川国道事務所の職員など24名が参加した。学生からの質問としては、建設会社への就職に関する内容や女性が建設会社で働く上での課題などについて多く質問が出された。また、建設会社で働いている女性職員からは、学生からの質問に対して自

分の経験を話して頂くなど、活発な意見交換を行うことができた。なお、意見交換で出された主な内容については、以下のとおりである。

- ・子育てをしつつ、仕事をするのは可能であるのか？
- ・女性を採用することで不利益は生じないか？
- ・実際仕事をしていく上で、男性には劣ると感じることはあるのか？
- ・仕事をしながら、地元から離れて育児はできるのか？
- ・建設会社で女性職員を採用する方針はあるのか？



写真－9 意見交換会

7. おわりに

今回の取り組み後に、参加頂いた大学生に対してアンケートを行い、以下のような意見を頂いた。

- ・工事現場を女性の目線で見てみて、女性への待遇がどのようなものなのか、女性が現場にいることのメリットなど自分なりに分析できる良い機会となりました。
- ・パトロールの後には意見交換があり、自分が建設業界に対して思っている不安に対する答えも聞くことができました。
- ・今回の安全パトロールで、現場が女性の働きやすい環境になりつつあることが分かり、将来への不安が少し和らぎました。また、建設業界で働く多くの方とコミュニケーションが取れてとてもよい機会になりました。
- ・女性用トイレの設置や、事務所の環境などを見て、女性目線の意見はとても重要なことだと思ったし、そのような意見を大切にしていけることで現場の環境が良くなるということを実感しました。
- ・意見交換では、女性技術者がどのように社会で役立っているのかなどの貴重なお話を聞くことができ、女性も自信を持って働いていられる方がたくさんいらっしゃることに気付かされました。
- ・実際に現場で働かれている女性の方から、仕事場の環境や、子育てなど生活と仕事との両立について聞かせて頂くことができて良かったです。

今回開催した工事安全パトロールを通じて、大学生が建設現場の実務を体験するとともに、現場の女性技術者と交流できる場として活用頂きたいと考えており、今後も多くの学生の皆様方に参加して頂けるよう、取組を継続していきたい。